	事務事業名	2	21133 環境衛生事務費													
I	担当組織		環境経済部					環境課					á	ク	クリーン推進担当	
I	組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	01	04	02	01	記入日	令和 4年 6月27日	
	祖献コート	R3 15 04 00 云 云 双 項 日 入事未 5		R3	01	04	01	04	02	01	此八口	17位 4年 0万27日				

7. FWFX	.,,-		合振興計	画上の位置づ	け					実施	計画候補
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が	が調和したま	<b>まち</b>		<b>TIP 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</b>				● 対象	Į.
施策	28	環境衛生の充実				一再揭施策				〇 対象	外
事業期間	平成	16年度 ~ 令和12	年度			_					
	廃棄	物の処理及び清掃に関	する法律			戸田市環	境基本	計画			
根拠法令	戸田	市あき地の環境保全に	関する条例		関連計画	61 人と	動物の	共生を	推進す	る条例の	制定と動物愛
通達等	ポイ	捨て等及び歩行喫煙を	なくす条例		施政方針	護背策の	推進				
事業区分	0	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの									
強靱化計画		□ リスクシナリオ番号:									
総合戦略		施策番号:									
対象	市民	及び土地所有者									
	市民	市民の環境美化意識を高め、きれいで安全・快適な生活環境の確保を図る。									
事業目的											
	「ポィ	′捨て等及び歩行喫煙る	をなくす条例	 削」に基づき、喫	煙制限区域等	における巡回	啓発る	を実施す	する。		
		メ蜂の巣の駆除を実施				有者に対して	. 、草×	ฟปดา	通告を	行う。	
	水害	等の災害時において、	感染防止の	消毒を実施する	0						
事業内容											
実施主体	■市	 iによる単独直営	■委託	(□3セク・財団	■企業	□市民·NP0	) [	□協働	·協力	(	)
行財政改革											
の取り組み											

### 2. 事業費 **<DO>**

<u> </u>	尹禾兵						
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			執行額(千円)	予算額 (千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
			ポイ捨て禁止	ポイ捨て禁止	ポイ捨て禁止	ポイ捨て禁止	ポイ捨て禁止
	主	な事業内容	条例等の啓発	条例等の啓発	条例等の啓発	条例等の啓発	条例等の啓発
	_		により市民の	により市民の	により市民の	により市民の	により市民の
			環境美化意識	環境美化意識	環境美化意識	環境美化意識	環境美化意識
事	1	事 業 費	27, 893	30, 071	30, 071	30, 071	30, 071
事業の		国庫支出金	0	0	0	0	0
予算	財源	県支出金	100	400	0	0	0
算	源厂	起債	0	0	0	0	0
実績	内一訳	その他	9, 845	9, 082	9, 082	9, 082	9, 082
横		一般財源	17, 948	20, 589	20, 989	20, 989	20, 989
	,	人件費	7, 893. 36	8, 862. 72	8, 862. 72	8, 862. 72	8, 862. 72
	投入	常勤職員	1.14人	1.28 人	1.28 人	1. 28 人	1. 28 人
	人員	非常勤職員	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
	事	業費+人件費	35, 786	38, 934	38, 934	38, 934	38, 934

		指標名	説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
	事務事業	ポイ捨て及び喫煙ルールの啓発件	喫煙制限区域における1	件	4	4	4	4	3
	活動①	数	日(6時間)あたりの件数	IT	4		-	-	_
	事務事業	市内空き地繁茂状況パトロールの	市内空き地繁茂状況パト		4	4	4	4	4
lβ	活動②	回数	ロールの回数	<u> </u>	4		-		_
目標達成	事務事業	ポイ捨て条例に基づく過料請求件	条例に基づき過料を請求	件	0	0	0	0	0
達	成果①	数	した件数	- 11	0		_		_
成	事務事業	放置雑草地の改善件数	市の通知により改善され	件	3	3	3	3	3
状況	成果②		た件数	- 11	4		_	_	_
況									
							-	_	
							_	_	_
		Λ ・ 仝 て の 日 煙 た 逹 成 Ι た							

A:全ての目標を達成した。 <判断理由>

目標達成 状況 の分析

放置雑草地の改善件数については、発生を抑制するとともに、発生した5件に対し、所有者に改善通知を発送する等により解 決を図った。

#### <CHFCK> 4. 評価結果

4.6下1四小口	木	OIIL							
	i	評価結果	Į	施策の目標達成に向けて貢献しているか。					
施策への	1 年度	2 年度	3年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。					
貢献度	Α	Α	Α	<判断理由> 空き地を清潔に保持するよう、土地の所有者に対し改善指導を実施している。ポイ捨て禁止条例に ついて、巡回啓発員員、広報等により周知しており、環境美化意識の向上に寄与した。					
	i	評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。					
✓ 誰 小 <b></b>	1 年度	2 年度	3年度	A:経費の精査が十分になされている。					
経費水準	А	А	А	<					
	評価結果		Ļ	事業手法は適正か。					
古米工汁	1 年度	2 年度	3年度	A:事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。					
事業手法	Α	А	Α						
	i	評価結果	Į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。					
受益・負担	1 年度	2 年度	3年度	A:受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。					
の公平性	Α	А	Α	<判断理由> 市内全域の空き地の保全に寄与している。また、スズメバチの巣の駆除は市内全域を対象としており、公平性が保たれている。					

#### 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に 実施した 取組内容・効果	なし
令和4年度に	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成については、令和4年度で県の補助が終了するため、令和5年度以降の助成実施の可否や制度を検討する。
実施する取組内容	また、人と動物の共生を推進する条例の令和5年度制定及び施行に向け、他自治体等の調査・施策の研究を行い、条例案を検討する。

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <mark><ac< mark=""></ac<></mark>
--

	● 1現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4 他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	〇 令和 5 年度で終了	〇 令和 4 年度で終了	○ 令和3年度で終了	
事業の方向性・ 取組方針	喫煙に対する苦情はな   マナーの更なる向上で	速に対応し、空き地の所 なくなっていないことか を目指す。	所有者に改善通知を実施 いら、ポイ捨て条例の居 战については、令和5年	周知や喫煙制限区域等 $\sigma$	)巡回啓発により、喫煙

事務事業名	6	999	狂力	<b></b> 大病予	防事業										
担当組織	担当組織環境経済部			FIS .		環境	課			担当	á	ク	リーン推進担当		
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・埧・日・大事業・中事業 ──	<u></u> R4	01	04	01	04	03	01	記入日	令和 4年 6月27日	
小口小以 一 1	R3	15	04	00		^ R3	01	04	01	04	03	01	心ヘロ		

	総合振興計画上の位置づけ											
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が	<sup>ヾ</sup> 調和したま	きち		五担状体				〇 対象		
施策	28	環境衛生の充実				┩再掲施策				● 対象外		
事業期間	昭和	4 1 年度 ~ 令和 1 2:	 年度			•		•				
	狂犬	病予防法										
根拠法令					関連計画							
通達等					施政方針							
事業区分	業区分 ● 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のう									任意のもの		
強靱化計画	化計画 口 リスクシナリオ番号:											
総合戦略		施策番号:										
対象	犬を	飼っている家庭										
	狂犬	病の発生を予防し、公	衆衛生の向	上と公共の福祉	の増進を図る。	>						
事業目的												
	生後	9 1 日以上の犬の飼い	主に対し、	鑑札や注射済票	 を交付する。?	狂犬病予防第		討、広	報等に	よる周知啓発	により、独	— 汪
	犬病	予防注射の接種を促進	する。									
事業内容												
中长子什		- 1- トス兴林本学		/ <b>D</b> 2 th <b>B</b> B			\	과ᄼᄹᆚ	171 ±	/		_
実施主体		たよる単独直営	□委託	(□3セク·財団	□企業	□市民·NP0	) [	肠惻	·協力	(	)	_
<b>行时</b> 武士艺												
行財政改革												
の取り組み												

## 2. 事業費 **<DO>**

<u></u>	于不	貝 <mark>マレジ</mark>					
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			執行額(千円)	予算額 (千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
			狂犬病予防集	狂犬病予防集	狂犬病予防集	狂犬病予防集	狂犬病予防集
	Ė	主な事業内容	合注射の実施	合注射の実施	合注射の実施	合注射の実施	合注射の実施
		_ • • • • • • • •	、注射済票の	、注射済票の	、注射済票の	、注射済票の	、注射済票の
			交付等	交付等 交付等 交付等 3		交付等	交付等
事		事 業 費	1, 117	1, 265	2, 465	1, 265	1, 265
事業の		国庫支出金	0 0		0	0	0
予算	財源	県支出金	0	0	0	0	0
算・	源「	起債	0	0	0	0	0
実績	内一訳	その他	1, 117	1, 265	1, 265	1, 265	1, 265
績		一般財源	0	0	1, 200	0	0
		人 件 費	2, 700. 36	2, 838. 84	2, 838. 84	2, 838. 84	2, 838. 84
	投入	常勤職員	0.39 人	0.41 人	0.41 人	0.41 人	0.41 人
	人員	非常勤職員	0. 24 人	0. 24 人	0. 24 人	0. 24 人	0. 24 人
	事	業費+人件費	3, 817	4, 104	5, 304	4, 104	4, 104

#### <CHECK> 3. 目標達成状況

		指標名	説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
	事務事業	狂犬病予防集合注射の実施数	市内で集合注射を実施し	<u> </u>	4	4	4	4	4
	活動①		た回数	1	4		_	_	_
	事務事業	狂犬病発生件数	市内での狂犬病発生件数	件	0	0	0	0	0
lβ	成果①			IT	0		_	_	_
┃標									
達							_	_	_
目標達成状況									
状							_	_	_
況									
							_	_	_
							·		
							_	_	_
		∧ . △イの口挿 t 法卍 l + .	<u> </u>				•		

A:全ての目標を達成した。 <判断理由>

目標達成 状況 の分析

狂犬病予防集合注射については、予定どおり実施することができた。

狂犬病発生件数が0件であり、事業目標は達成できている。

#### 4 評価結果 <CHFCK>

4.計1四平日	木	<u> </u>	<i>/</i> //					
	į	評価結果	Į	施策の目標達成に向けて貢献しているか。				
施策への	1 年度	2年度	3年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。				
貢献度			Α	<判断理由> 狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病の発生を抑制している。				
	i	評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。				
奴弗-ルギ	1年度	2年度	3年度	A:経費の精査が十分になされている。				
経費水準	А	А	Α	<判断理由> 狂犬病予防に関する連絡費や印刷費が主な経費であり、最小の経費で実施することができ				
	評価結果			事業手法は適正か。				
古来工汁	1年度 2年度 3年度			A:事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。				
事業手法	Α	А	Α	<判断理由> 関係団体の獣医師の協力により狂犬病予防集合注射を実施する等、効率的に事業を実施している。				
	į	評価結果	Į	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。				
受益・負担	1 年度	2年度	3年度	A:受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。				
の公平性	А	А	А	<判断理由> 狂犬病予防集合注射は市内で偏りのないよう実施している。また、休日も実施することにより、働いている飼い主にも集合注射を受けやすい環境を整え、公平性が保たれている。				

#### 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和3年度に	令和2年度の狂犬病予防集合注射は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、令和3年度は感染
実施した	症対策のため人員を増加して実施した。
取組内容・効果	
令和4年度に	重点戦略2 テーマ① 取組名:LINEアプリによる、犬の登録等の申請導入の検討
実施する取組内容	その他の効果:窓口に来庁する必要がなくなり、市民サービスの向上に寄与

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <mark><act< mark=""></act<></mark>
--

	○ 1現状で継続	● 2 拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	○ 令和 5 年度で終了	〇 令和 4 年度で終了	○ 令和3年度で終了	
事業の方向性・ 取組方針		の実施と畜犬管理シスラ	テムの活用により、今後 こよる手続きに対応する		挂持・向上を図っていく は替えを検討する。

事務事業名	2	21134 清掃総務事務費													
担当組織		環境経済部環境課							担当	á	ク	リーン推進担当			
組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	02	01	01	01	記入日	令和 4年 6月27日	
池帆コート	R3	15	04	00		R3	01	04	02	01	01	01	此八口	7 77H 4++ 0/12/12	

1. 争份争未											
総合振興計画上の位置づけ実施計画候を											
基本目標・考え方	06 都市環境と自然環境が調和したまち	│ - 再掲施策 <del> </del>		● 対象							
施策	28 環境衛生の充実		开码吧来		〇 対象外						
事業期間	平成16年度 ~ 令和12年度										
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		戸田市環境基本計	画							
根拠法令	戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	関連計画	56 循環型社会に	向けたプラ	ごみや食品ロスの削減						
通達等		施政方針	と3Rの推進								
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち記	義務的なもの	● 自治事	事務のうち	任意のもの						
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号:										
総合戦略	□ 施 策 番 号 :										
対象	地域住民										
	駅周辺や∪字溝等を清掃することにより、環境の美化	、 L 理性生生の#	*								
	駅周辺やU子溝寺を肩押りることにより、環境の夫10	. C 環児倒生の指	E進で凶る。								
事業目的											
	市内3駅周辺と駅前公衆トイレ、U字溝や現場打側溝	等の清掃を行う	<b>,</b>								
	ごみの排出を抑制する。										
事業内容											
サスドバー											
実施主体	■市による単独直営 ■委託 (□3th・財団	■企業 [	□市民·NPO) □ ti	協働・協力	( )						
	重点戦略3 テーマ① 取組名:公民連携による市技										
行財政改革	内容:推奨ごみ袋の作製にあたり、民間のノウハウを			ぎ事業者	を募集・選定した。						
の取り組み	重点戦略3 テーマ② 取組名:民間活力を活用した 内容:家庭で余っている食べ物や賞味期限が近づいた			抽域の垣	<b>外団体などに客付する</b> 年						
	動を包括連携協定締結事業者とともに実施した。	. 戌四で付り苛り	/、(4いかでみとめ)(	. ᠈╚᠈Ӽ♥ノ育田1							

## 2.事業費 **<DO>**

	<i>ナヘト</i>	`	\DU/					
				令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)
				ごみ減量化対	ごみ減量化対	ごみ減量化対	ごみ減量化対	ごみ減量化対
	主	な事業	業内容	策、駅周辺の	策、駅周辺の	策、駅周辺の	策、駅周辺の	策、駅周辺の
				公衆衛生確保	公衆衛生確保	公衆衛生確保	公衆衛生確保	公衆衛生確保
事	7	事業	費	71, 337	77, 367	77, 367	77, 367	77, 367
事業の		国庫	支出金	0	0	0	0	0
予算	財	県3	支出金	0	0	0	0	0
昇	財 源 内 訳	起	債	0	0	0	0	0
実績	訳	そ	の他	13, 339	11, 937	11, 937	11, 937	11, 937
積		— 舟	<b>设財源</b>	57, 998	65, 430	65, 430	65, 430	65, 430
	•	人件	- 費	10, 662. 96	13, 848	13, 848	13, 848	13, 848
	投入	常	]勤職員	1.54人	2人	2人	2人	2人
	人員	非常	常勤職員	0.38人	0.38 人	0.38 人	0.38人	0.38人
	事	業費+	·人件費	82, 000	91, 215	91, 215	91, 215	91, 215

		指標名	説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
	事務事業 活動①	駅前及び駅トイレ清掃の実施日数	年間のトイレ清掃の実施 日数	B	363 363	363	364 —	363 —	363 —
l	事務事業	清掃に関する苦情件数	駅前及び駅前トイレ清掃 に関する苦情件数	件	0	0	0 	0 	0 
目標達成状況							_	_	_
成状							_	_	_
況							_	_	_
							_		_
		A 人 イ の 口 博 ナ 法 ポーナ							

A:全ての目標を達成した。 <判断理由>

目標達成 状況 の分析

駅前及び駅トイレについて、委託により清掃業務を予定どおり実施し、清掃に関する苦情はなかった。

#### <CHECK> 4. 評価結果

T. II III III II II II II II II II II II		<i>////</i>						
	i	評価結果	Į	施策の目標達成に向けて貢献しているか。				
施策への 1年度 2年度 3年度			3年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。				
貢 献 度	Α	Α	А	<判断理由> 駅周辺やU字溝等の清掃により、良好な地域環境を保持することができている。				
	i	評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。				
奴弗北淮	1 年度	2年度	3年度	A:経費の精査が十分になされている。				
経費水準	А	А	A	<				
	評価結果		Ļ	事業手法は適正か。				
古光工汁	1年度 2年度 3年度			A:事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。				
事業手法	Α	А	Α	<判断理由>    委託業務において、障がい者の就労支援を図る等、手法を工夫している。  				
	i	評価結果	ļ	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。				
受益・負担	1 年度	2年度	3年度	A:受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。				
の公平性	Α	Α	Α	<判断理由> 駅周辺及び駅前公衆トイレは全ての市民が利用することができ、公平性が保たれている。				

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

	取組名:公民連携による市推奨ごみ袋の作製(令和4年度導入に向けた事業者募集、選定)
令和3年度に	その他の効果:民間のノウハウを活用し、業務の効率化に寄与
実施した	取組名:民間活力を活用したフードドライブの実施
取組内容・効果	その他の効果:包括連携協定締結事業者の協力の下、コロナ禍における生活応援の役割を担うことができた。
	災害時に大量に発生する廃棄物を適正に処理するため、災害廃棄物処理計画を策定した。
	重点戦略3 テーマ① 取組名:公民連携による市推奨ごみ袋の作製(令和4年度導入)
△和 4 左座に	その他の効果:民間のノウハウを活用し、業務の効率化に寄与
令和4年度に	重点戦略2 テーマ① 取組名:LINEアプリによる、粗大ごみ申請導入の検討
実施する取組内容	その他の効果:窓口に来庁する必要がなくなり、市民サービス向上に寄与
	食品ロス削減のためのフードドライブ実施拠点拡大や、プラごみ削減の取組について検討する。

6.	令和5年	度の方向性	・取組方針	<action></action>

	● 1現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4 他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	〇 令和 5 年度で終了	〇 令和 4 年度で終了	○ 令和3年度で終了	
事業の方向性・ 取組方針	<方向性の判断理由 駅周辺等の良好な地均	・取組方針> 域環境の維持のため、i	継続して実施する。		

事務事業名	2	1137	L.I	录収集	事業										
担当組織			環境	<b>経済</b> 音	FIS .	環境課					担当	á	ク	リーン推進担当	
組織コード	R4	15	04	00	会計·款·項·目·大事業·中事業	R4	01	04	02	02	02	01	記入日	令和 4年 6月27日	
	R3	15	04	00		R3	01	04	02	02	02	01	心人口	1 17TH 74 0727 H	

		総合振興計画上の位置	づけ					実施計画側	<b> 桑補</b>		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち		T-18-15-15				〇 対象			
施策	28	環境衛生の充実	再掲施策				● 対象外				
事業期間	平成	16年度 ~ 令和12年度						•			
	廃棄	物の処理及び清掃に関する法律		戸田市環	境基本	計画					
根拠法令	戸田										
通達等	施政方針										
事業区分	0	法定受託事務 ● 自治事務のうち	義務的なもの	1	O 自:	治事務	のうち	任意のもの			
強靱化計画		リスクシナリオ番号:									
総合戦略		施 策 番 号 :									
対象	市民	及び汲み取り世帯									
	清潔	で快適な生活環境を創出するため、し尿を適正し	こ処理し、公衆行	新生の向上を	図る。	•					
事業目的											
	汲み	取り式トイレのし尿の収集運搬と汲み取り手数料	料の徴収を行う。								
	観桜	期の花見会場における仮設トイレの設置とし尿液	及み取りを行う。								
+ * + + +											
事業内容											
実施主体	Πī	5による単独直営 ■委託 (□3セク・財団	■企業	□市民·NP0	) [	□協働	·協力	(	)		
行財政改革											
の取り組み											

## 2. 事業費 <DO>

	于不足	<b>\DU</b> /					
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
			汲み取り式ト	汲み取り式ト	汲み取り式ト	汲み取り式ト	汲み取り式ト
	主	な事業内容	イレのし尿の	イレのし尿の	イレのし尿の	イレのし尿の	イレのし尿の
			収集運搬等を	収集運搬等を	収集運搬等を	収集運搬等を	収集運搬等を
			実施する。	実施する。	実施する。	実施する。	実施する。
事	1	事業費	2, 333	7, 065	7, 065	7, 065	
<del>薬</del>		国庫支出金	0	0	0	0	0
事業の予算	財	県支出金	0	0	0	0	0
算・	源	起債	0	0	0	0	0
実績	内一訳	その他	708	691	691	691	691
績		一般財源	1, 625	6, 374	6, 374	6, 374	6, 374
		人 件 費	1, 177. 08	761. 64	761. 64	761. 64	761. 64
	投入	常勤職員	0.17人	0.11 人	0.11 人	0.11人	0.11人
	人員	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
	事	業費+人件費	3, 510	7, 827	7, 827	7, 827	7, 827

		指標名	説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
	事務事業 活動①	し尿汲取りの実施回数	1世帯あたりの年間汲み 取り回数	回	24 24	24	24 	24 	24
	事務事業成果①	汲取り世帯からの苦情	汲取り世帯からの苦情の 合計件数	件	0	0	0	0	0
目標達成状況	77710		78.112		-		_	_	_
成出							_	_	_
況									
							_	_	_
							_	_	_

A:全ての目標を達成した。

目標達成 状況 の分析 <判断理由>

し尿汲み取りや運搬を完全実施し、し尿汲み取り世帯の保健衛生環境の向上に寄与した(一般154人、業務27人、合計181人)。

なお、し尿汲み取り手数料の調定額は721,400円で、収入済額は703,800円、収納率は97.6%である。

#### 4.評価結果 <CHECK>

4. 計1四形	<u> </u>	COTIEC								
	į	評価結果	Į	施策の目標達成に向けて貢献しているか。						
施策への	1 年度	2年度	3年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。						
貢献度	А	А	Α	<判断理由> 対象世帯のし尿汲み取りを完全実施しており、保健衛生環境の向上に寄与している。						
	Ī	評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。						
奴弗-ルギ	1年度	2年度	3年度	A:経費の精査が十分になされている。						
経費水準	Α	А	A	<判断理由> し尿の汲み取りについては、利用者ごとの単価契約とする等最小の経費で業務を実施している。						
	評価結果			事業手法は適正か。						
古光工汁	1 年度	2年度	3年度	A:事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。						
事業手法	Α	А	Α	<判断理由> 定期的にし尿汲み取りを実施し、市民からの要望にも迅速に対応している。						
	į	評価結果	Ļ	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。						
受益・負担	1 年度	2年度	3年度	A: 受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。						
の公平性	Α	Α	Α	<判断理由> 対象は市内全域であり、市内の保健衛生環境の向上に寄与している。						

5	事業の見直し	・行財政改革の取組内容	<action></action>
$\cup$ .	# X V) T.IP (	1   \$/  \(\overline{\pi}\)   \	\nu11011/

令和3年度に 実施した 取組内容・効果	なし
令和4年度に 実施する取組内容	なし

6	会和5年度の方向性・取組方針	<action></action>

	● 1現状で継続	○2拡大して継続	○3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	○6その他見直し	○ 令和 5 年度で終了	〇 令和 4 年度で終了	○令和3年度で終了	
事業の方向性・ 取組方針	<方向性の判断理由 対象世帯がなくなる。	・取組方針> まで実施する必要がある	る。し尿汲み取り手数料	4の徴収については、口	1座振替の促進を図る。

	事務事業名	2	21138 廃棄物収集処理事業													
	担当組織	環境経済部環境課										担当	á	ク	リーン推進担当	
Γ	組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	02	02	03 01		記入日	令和 4年 6月27日	
ı	小丘小以 一 1	R3	R3 15 04		00			01	04	02	02	03	01	記八日	<b> </b>	

7 352 7 171		総合振興計画上の位置づ	) (+					実施計	画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち	17		ı	Π	Ī					
				再掲施策				○ 対象				
施策	28	環境衛生の充実					● 対象外	•				
事業期間	平成	1 6年度 ~ 令和12年度										
	廃棄	物の処理及び清掃に関する法律		戸田市環	境基本	計画						
根拠法令	戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 関連計画 戸田市ごみ処理計画											
通達等			施政方針									
	//E-PA / J #											
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの											
強靱化計画		リスクシナリオ番号 : 2-3、8-1										
総合戦略		施策番号:										
対象	市内	在住者										
	日々	の市民生活や経済活動を支える必要不可欠な社会	:インフラである	廃棄物の収	集処理	理を、	適正か	つ安定的に維	<sup>送</sup> 続実施する			
事業目的	。不	法投棄を抑制し、環境の美化と保全を図る。										
, , , , , , ,												
	家庭	ごみの分別収集、粗大ごみの予約受付・収集を行	 う。									
	不法	投棄防止のための監視パトロールや不法投棄され	た廃棄物の回収	収を行う。								
事業内容												
7 513.7 🗖												
実施主体	□₫	たたよる単独直営 ■委託 (□3セク・財団	■ 企業 [	 □市民·NP0	) [	□協働	·協力	(	)			
行財政改革												
の取り組み												

## 2.事業費 **<DO>**

	7///	• •					
			令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)
			廃棄物を効率	廃棄物を効率	廃棄物を効率	廃棄物を効率	廃棄物を効率
	Ì	な事業内容	的に収集し、	的に収集し、	的に収集し、	的に収集し、	的に収集し、
	_	20.1.20.1.2	不法投棄を監	不法投棄を監	不法投棄を監	不法投棄を監	不法投棄を監
			視する。	視する。	視する。	視する。	視する。
事	1	事業費	340, 080	340, 172	355, 172	355, 172	355, 172
<del>薬</del>		国庫支出金	0	0	0	0	0
事業の予算	財	県支出金	0	0	0	0	0
算	源	起債	0	0	0	0	0
実績	内訳	その他	36, 430	36, 407	36, 407	36, 407	36, 407
績		一般財源	303, 650	303, 765	318, 765	318, 765	318, 765
	•	人 件 費	4, 569. 84	4, 015. 92	4, 015. 92	4, 015. 92	4, 015. 92
	投入	常勤職員	0.66人	0. 58 人	0.58人	0. 58 人	0.58人
	人員	非常勤職員	0. 24 人				
	事	業費+人件費	344, 650	344, 188	359, 188	359, 188	359, 188

		指標名	説明・算定式	単位	R3目標	R 4 目標	R 5 目標	R6目標	R7目標			
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	17073 71702		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績			
	事務事業	まちづくり出前講座実施回数	年間の実施回数		3	3	3	3	3			
	活動①				1		_	_	_			
	事務事業	不法投棄の調査回数	通報やパトロールによる		1, 000	1, 000	1,000	1, 000	1, 000			
lβ	活動②		調査件数		1, 239		_	_	_			
目標達成	事務事業	ごみ収集量	家庭から排出された可燃		20, 607	20, 607	20, 607	20, 607	20, 607			
達	成果①		ごみの総量	1.7	20, 697		-	_	_			
成	事務事業	不法投棄の回収個数	通報やパトロールによる	個	3, 900	3, 900	3, 000	3, 900	3, 900			
状	成果②		回収個数		4, 651			_	_			
況	強靱化	ごみ収集回数(もやすごみ及びも	一週あたりの収集回数		18	18	18	18	18			
	KPI(1)	やさないごみ)			18		_	_	_			
							_	_	_			
		B:いずれかの目標を達成した。										
l⊟≭	票達成	<判断理由>										
		新型コロナウイルスによる在宅時間	間の増加等の影響もあり、家	定庭ごみ(	可燃ごみ)	が増加した	。不法投棄	の回収個数	(も増加し			
	犬況	た。										
一の	分析	まちづくり出前講座については、新	所型コロナウイルス拡大防止	のため人	が集まる機	会を減らす	必要がある	ことから、	申請が減			
		少し、目標値に届かなったが、少り										

#### 4.評価結果 **<CHECK>**

<u> т.р.ншин</u> ц	<u> </u>	COLLE	<del>/////////////////////////////////////</del>						
	į	評価結果	Ļ	施策の目標達成に向けて貢献しているか。					
施策への	1 年度	2 年度	3年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。					
貢献度	Α	Α	Α	<判断理由> 家庭ごみの回収を継続して実施することにより、市民の生活環境を清潔に保持することに貢献している。					
	i	評価結果		事業費・人件費の水準は適正か。					
奴弗-ルギ	1年度 2年度 3年度		3年度	A:経費の精査が十分になされている。					
経費水準	Α	Α	Α	<判断理由> 人口増に伴い、ごみの集積所も増加しているが、経費は最小限に抑えられている。					
	i	評価結果		事業手法は適正か。					
古光工汁	1 年度	2年度 3年度		A:事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。					
事業手法	А	А	А	<判断理由> 家庭ごみの収集に関し、適切なサービスが提供できている。					
	i	評価結果		受益の公平性と負担の適正化は図られているか。					
受益・負担	1 年度	2 年度	3年度	A:受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。					
の公平性	Α	Α	Α	<判断理由> 家庭ごみについては有料化するのではなく、分別収集によるごみの減量を促進することにより、公 衆衛生の向上を図っている。また、市の全世帯が回収の対象であり、公平性が保たれている。					

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <a href="#"><ACTION></a>

令和3年度に 実施した 取組内容・効果	なし
令和4年度に 実施する取組内容	粗大ごみについて、申し込みが多い状況が継続していることから、収集運搬体制について検討する。

6. 令和5年度の方向性・取組方針 <mark><actio< mark=""></actio<></mark>	ON>	<AC	†	取組方針	方向性	年度の	令和5	3.
--	-----	-----	---	------	-----	-----	-----	----

	○ 1現状で継続	● 2 拡大して継続	○ 3縮小して継続	○ 4他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	○令和5年度で終了	〇 令和 4 年度で終了	○ 令和3年度で終了	
事業の方向性・ 取組方針	粗大ごみについて、新	実に実施するため、継続 新型コロナウイルスの	売して実施する必要がま 影響を受け、申し込みかことから、収集運搬体制	、。 が多い状況が継続してお	Sり、またLINEによ

	事務事業名	7	7006 蕨戸田衛生センター分担金												
	担当組織			環境	経済音	ß	環境課				担当 クリーン			リーン推進担当	
ı	組織コード	R4	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R4	01	04	02	03	01	01	記入日	令和 4年 6月27日
ı	小丘小以 一 1	R3	15	04	00	云副 "	R3	01	04	02	03	01	01	此八口	1741 74 07210

1. 4.00 + 20			合振興計	画上の位置づ	け					実施計画候	補
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が	バ調和した ま	きち		<b>工担状</b> 体				〇 対象	
施策	28	環境衛生の充実				再掲施策				● 対象外	
事業期間	平成	17年度 ~ 令和12	年度			•		•	•		
	廃棄	物の処理及び清掃に関	する法律								
根拠法令	関連計画										
通達等				施政方針							
事業区分	0	法定受託事務	<ul><li>自</li></ul>	治事務のうち義	務的なもの		〇 自	治事務	のうち	任意のもの	
強靱化計画		リスクシナリオ番号:	2-3,8-1								
総合戦略		施策番号:									
対象	市民	、事業者、蕨戸田衛生	センター								
	日常	'生活から排出されるご	みを適正に	処理し、清潔で	快適な市民生	舌を確保する	<b>,</b>				
事業目的											
	蕨戸	田衛生センターにおけ	る円滑で効	率的なごみ処理	事業に必要な	分担金を負担	する。	•			
事業内容											
 実施主体	■ 7	 市による単独直営	□委託	(□3セク・財団		 □市民·NP0	)	■抗動	. 拉力	 ( 一部事務組合	)
大心工作		いっちの土は旧口	ᆸᇴᇟ	(미야/ 씨덴			, •		רא ממו	· 마쿠까뜨디	
行財政改革											
の取り組み											

## 2.事業費 **<DO>**

<u> </u>	尹禾兵	L DU						
				令和3年度 執行額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)
	Ì	な事業内容		し尿処理及びごみ焼却等の実施	し尿処理及びごみ焼却等の実施	し尿処理及びごみ焼却等の実施	し尿処理及びごみ焼却等の実施	し尿処理及びごみ焼却等の実施
事	1	事業費		728, 157	799, 599	799, 599	799, 599	799, 599
事業の予算		国庫支出金	È	0	0	0	0	0
予	財	県支出金		0	0	0	0	0
昇	財 源 内 訳	起	Į	0	0	0	0	0
実績	訳	その他	<u>ե</u>	0	0	0	0	0
積		一般財源		728, 157	799, 599	799, 599	799, 599	799, 599
	,	人 件 費		2, 561. 88	1, 246. 32	1, 246. 32	1, 246. 32	1, 246. 32
	投入	常勤職員	į	0.37 人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
	人員	非常勤職	員	0人	0人	0人	0人	0人
	事	業費+人件費	ŧ	730, 719	800, 845	800, 845	800, 845	800, 845

			指標名	説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
Г		事務事業	蕨戸田衛生センター議会開催回数	蕨戸田衛生センター議会	0	4	4	4	4	4
		活動①		年度内開催回数		4		_	_	_
		事務事業	分担金支出割合	分担金の請求に対する支	%	100	100	100	100	100
	目	成果①		出実績	70	100		_	_	_
7	標	強靱化	分担金支出割合	分担金の請求に対する支	%	100	100	100	100	100
H	達	KPI(1)		出実績	70	100		_	_	_
	目標達成状況									
1	状							_	_	_
	況									
								_	_	_
								·		
								_	_	_
			^ 人ての口無た法式しょ						·	

A:全ての目標を達成した。 <判断理由>

目標達成 状況 の分析

蕨戸田衛生センターの運営分担金について、100%支出することができた。

#### <CHFCK> 4. 評価結果

4. 計価和未 💙 🐪		CHEC	<i>///</i>						
	i	評価結果	Į	施策の目標達成に向けて貢献しているか。					
施策への	1 年度	2 年度	3年度	A:施策の目標達成に大いに貢献している。					
貢 献 度	Α	А	А	<判断理由> 分担金を適切に支払うことにより、蕨戸田衛生センターの事業が円滑に実施され、安定的にごみや し尿の処理が実施されている。					
		評価結果	Ļ	事業費・人件費の水準は適正か。					
级弗业维	1年度 2年度 3年度			A:経費の精査が十分になされている。					
経費水準	Α	А	А	<判断理由> 本市、蕨市、蕨戸田衛生センターの3者により、連絡協議会が組織され、経費は十分に精査されている。					
	i	評価結果	Ļ	事業手法は適正か。					
古光工汁	1 年度	2 年度	3年度	A:事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。					
事業手法	Α	Α	Α	<判断理由> 蕨市と共に一部事務組合である蕨戸田衛生センターを設置し、ごみやし尿の処理の集約化を図って おり、持続可能な適正処理が確保されている。					
	Î	評価結果	Ļ	受益の公平性と負担の適正化は図られているか。					
受益・負担	1 年度	2年度	3年度	A: 受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。					
の公平性	Α	А	А	<判断理由> 市内全域から排出されるごみやし尿が円滑に処理されており、公平性は確保されている。					

5	事業の見直し	・行財政改革の取組内容	<action></action>
$\mathbf{O}$ .	<b>事 未 い か. ip し</b>	11岁以以手以从心门台	

令和3年度に 実施した 取組内容・効果	なし
令和4年度に 実施する取組内容	なし

•	会和5年度の方向性・取組方針	<action></action>
_		S ALL I I I II V

	● 1 現状で継続	○ 2拡大して継続	○ 3縮小して継続	○ 4 他事業と統合	○ 5休止
	○ 6 その他見直し	〇 令和 5 年度で終了	〇 令和 4 年度で終了	○ 令和3年度で終了	
事業の方向性・ 取組方針	<方向性の判断理由・取組方針>  今後も市内の家庭ごみやし尿を安定的に処理するため、連絡協議会等により十分精査し、継続して分担金を支払  うことが必要である。令和元年度から4年間に亘り、蕨戸田衛生センターの施設延命化工事が実施されているため、ごみ処理等が滞ることがないよう努める。				